

「しまくとぅば」って 何ですか？

2006年（平成18年）に沖縄県議会で「しまくとぅばの日に関する条例」が制定されました。「しまくとぅば」とは何でしょう。『沖縄語辞典』によれば、「シマ」は「集落」と「故郷」という意味があります。また、「クトゥバ」は「言葉」の意味があります。

「しまくとぅば」とは「故郷の言葉」を表します。県議会は沖縄県民にそれぞれの「故郷の言葉」を大切にしようと訴えたのです。

【しまくとぅばの日に関する条例】

第1条 県内各地域において世代を越えて受け継がれてきたしまくとぅばは、本県文化の基層であり、しまくとぅばを次世代へ継承していくことが重要であることにかんがみ、県民のしまくとぅばに対する関心と理解を深め、もってしまくとぅばの普及の促進を図るため、しまくとぅばの日を設ける。



ウチナーグチと「しまくとぅば」は、同じ意味ですか？

同じではありません。「しまくとぅば」が、宮古諸島や八重山諸島を含む県内各地域の言葉の総称であるのに対し、ウチナーグチは、沖縄本

島やその周辺離島の言葉をいいます。ウチナーグチは、しまくとぅばに含まれる言葉の一つです。

「しまくとぅば」は、「琉球諸語」（または「琉球語」）に言い換えてもよいですか？

「しまくとぅば」と「琉球諸語」は、包含する地域が異なります。一般的に「琉球諸語」は、沖縄県の八重山諸島から鹿児島県の奄美諸島までの島々で話されてきた言葉の総称として使われますが、北大東村と南大東村の開拓の

ために八丈島から来た人たちが話してきた八丈語系統の言葉は含みません。これに対し、「しまくとぅば」は、八丈語系統の言葉を含む沖縄「県内」で受け継がれてきた言葉の総称です。

「しまくとぅば」は、日本語の方言ですか？それとも、日本語とは別の言語ですか？

言語と方言を区別する基準は、様々な議論があり、明確に定まっていません。日本政府も「言語及び方言の用語は、様々な意味を有するも

のであり、一概に答えることは困難」としています。こうした状況の中、県は「しまくとぅば」を用いて、各種の施策を展開しています。

ユネスコが、沖縄県内の言葉を、方言ではなく言語と認定したと聞きましたが。

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）は、世界中の言葉の消滅危機について調査研究を行い、2009年（平成21年）に『Atlas of the World's Languages in Danger』（世界消滅危機言語地図）を発表しました。同書は、「方

言（dialect）」という用語を使用せず、一律に「言語（language）」を用いています。同書が「認定」したのは、言語か方言かという区別ではなく、あくまで、沖縄県内の言葉が消滅の危機に瀕しているということです。

「ウチナーヤマトグチ」は、「しまくとぅば」に含まれますか？

ウチナーヤマトグチ（またはウチナーヤマトグチ）は、明治期以降、伝統的な沖縄本島の言葉と、日本各地の言葉との「接触」によって生じたとされています。ウチナーヤマトグチは「沖縄的日本語」であり、ウチナーグチ（沖縄語）でも琉球諸語でもありません。名称をウチナーグチに言い換えたものです。宮古や八重山にも類似の接触言語がありますが、それらは

ウチナーヤマトグチとはいいません。ウチナーヤマトグチがある一定の地域において、世代を超えて受け継がれているのかどうかについては、現時点ではわかっていません。また、消滅の危機にあるということも言われていません。このため、県のこれまでの「しまくとぅば」関係施策では、ウチナーヤマトグチを取り扱ったことはありません。

なぜ、しまくとぅばを大切にしないといけないの？

しまくとぅばは、地域の伝統的な生活や習俗、祭祀や豊年祭など地域の文化と深く結びついています。

しまくとぅばがなくなってしまうと、しまくとぅば特有の表現がなくなってしまうだけでなく、先人たちが築いてきた知恵や、地域に受け継がれてきた伝統的な精神文化も喪失してしまいます。

また、出身地域のしまくとぅばを耳にし郷愁を覚えたりするなど、しまくとぅばはアイデンティティーのよりどころともなります。

しまくとぅばは、人々が心豊かに生き、活力のある社会を築き、世界と友好を深めていく基盤として、本県の実現に欠かせないものです。



子どもたちが「しまくとぅば」を学ぶことで期待される効果

子どもたちが「しまくとぅば」を学ぶことで、自分たちが暮らす地域の文化や歴史を深く知ることになり、地域への愛着や誇りが育まれます。

また、アクセントやイントネーション、単語が集落ごとに異なるしまくとぅばの広がりを知ることで、言葉の多様性を理解し、国際社会で必要とされる他者への寛容さや、共生への態度を身につけることができます。

さらに、しまくとぅば学習は、言葉の発達と習得を促し、子どもたちの言語能力を高めることが期待できます。



触れる・学ぶ・参加・協力・支援

—しまくとぅばとの関わり方—



小中学生向け

触れる・学ぶ

- しまくとぅばオリジナルアニメを見て、楽しく触れてみる(Youtubeで公開)
- しまくとぅばEラーニング:スマホやパソコンで動画を見て基礎を学ぶ
- 1日1ことばチャレンジ:あいさつ(はいさい/はいたい)など、まず1語から。
- 聞いて覚える:おじい・おばあとしまくとぅばで会話する。

参加する

- しまくとぅば語やびら大会を見学:発表を見よう。挑戦してみるのもOK
- 県民大会に参加:U-18島唄者コンテストやしまくとぅば語やびら大会の本選を見に行こう
- 講座案内:しまくとぅば普及センターへ問い合わせよう
ご希望の地域のしまくとぅばなどにあわせて、参加できる講座やイベントをご紹介してもらえよ
TEL:098-988-0411



高校生以上向け

学ぶ —基礎から実践へ—

- しまくとぅばEラーニング:基礎～応用まで、地域ごとの発音も学べる。
- Webでしまくとぅばテストに挑戦:学びの成果を確認しよう

参加する

- しまくとぅば語やびら大会やU-18島唄者コンテストに出場して表現を磨こう
- 県民大会に参加:U-18島唄者コンテストやしまくとぅば語やびら大会の本選を見に行こう
- 県やセンターが主催する講座・講演・シンポジウムに積極的に参加しよう[情報は「しまくとぅばナビ」で検索]

協力・支援

- 講師養成講座(16歳以上):修了後は人材バンク登録→学校・地域で指導補助へ。

関連リンク



しまくとぅばアニメ
(YouTube)



Eラーニング



しまくとぅばナビ

沖縄県文化観光スポーツ部
文化振興課 しまくとぅば普及推進室

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2(県庁9階) TEL:098-894-7882

発行:令和8年(2026年)1月